

令和3年度
第3回 台東区区政サポーター
アンケート調査 報告書

「健康づくりについて」

「障害者のコミュニケーションに関する認識について」

台東区 総務部 広報課

令和3年度 第3回 台東区区政サポーターアンケート

区政サポーターとは

資 格：公募による区内在住の中学生以上の方

活動内容：区政に関するアンケートを郵便または電子メールで回答する。

任 期：2年（令和3年4月1日～令和5年3月31日）

目 的

区政サポーターの方に区の課題となっている「施策や事業に関するアンケート」に回答していただくことによって、区政への参加を図ります。また、アンケート結果は区民の貴重なご意見として、今後の区政運営の資料といたします。

内 容

- (1) 健康づくりについて
- (2) 障害者のコミュニケーションに関する認識について

調査概要

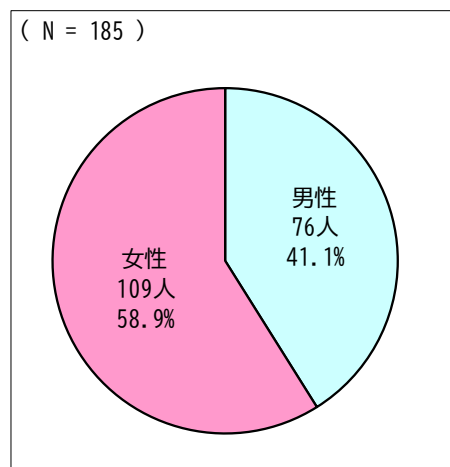
調査期間 令和3年9月29日（水）～10月12日（火）

対 象 区政サポーター200名（郵便によるサポーター60名、Eメールサポーター140名）

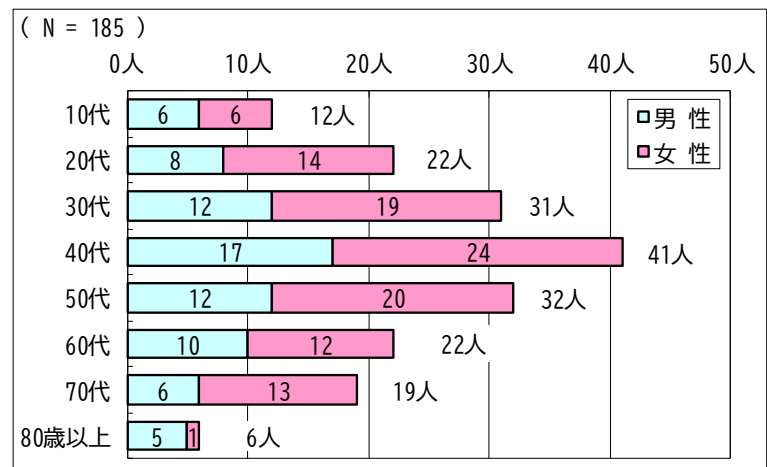
有効回収数 185名（郵便57名、Eメール128名） 有効回収率92.5%

回答者の属性

性別



年代別



地区別（区民事務所・分室・地区センター）

地区	竹町	東上野	上野	入谷	金杉	谷中
男性	2人	2人	3人	12人	15人	5人
女性	7人	7人	10人	11人	11人	6人
計	9人	9人	13人	23人	26人	11人
地区	浅草橋	浅草寿	雷門	馬道	清川	合計
男性	8人	8人	10人	8人	3人	76人
女性	8人	9人	11人	16人	13人	109人
計	16人	17人	21人	24人	16人	185人

職業別

職業	自営業・ 個人事業主等	会社員・ 公務員等	主婦(夫)	学生	無職	その他	合計
人数	18人	82人	31人	19人	20人	15人	185人

目 次

I 調査結果の分析

「健康づくりについて」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

「障害者のコミュニケーションに関する認識について」・・・・・・・・ 9

II アンケート質問と回答・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

報告書の表記について

- (1) 回答の構成比率(%)はすべて百分比で表し、小数点第2位を四捨五入しています。そのため、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがあります。
- (2) 基数となるべき実数は、Nで表しています。
Nは、回答者総数または該当設問の該当者数です。
- (3) 複数回答の設問は、各選択肢を1つだけでなく、2つ以上選択するため、各選択肢の合計数字が100%を超える場合があります。
- (4) 自由意見は、文字制限がある為、要約して掲載する場合があります。

※この報告書は、区のホームページ <https://www.city.taito.lg.jp/>に掲載しています。
(トップページ>区民の声>台東区区政サポーター)

I 調査結果の分析

【健康づくりについて】

長引くコロナ禍の自粛生活等により、運動不足や体力・筋力の低下、体重の増加、また、外出できないことによる精神的なストレスから不調をきたすなど、心身に悪影響をもたらし、健康づくりへの課題が生じていると言われています。

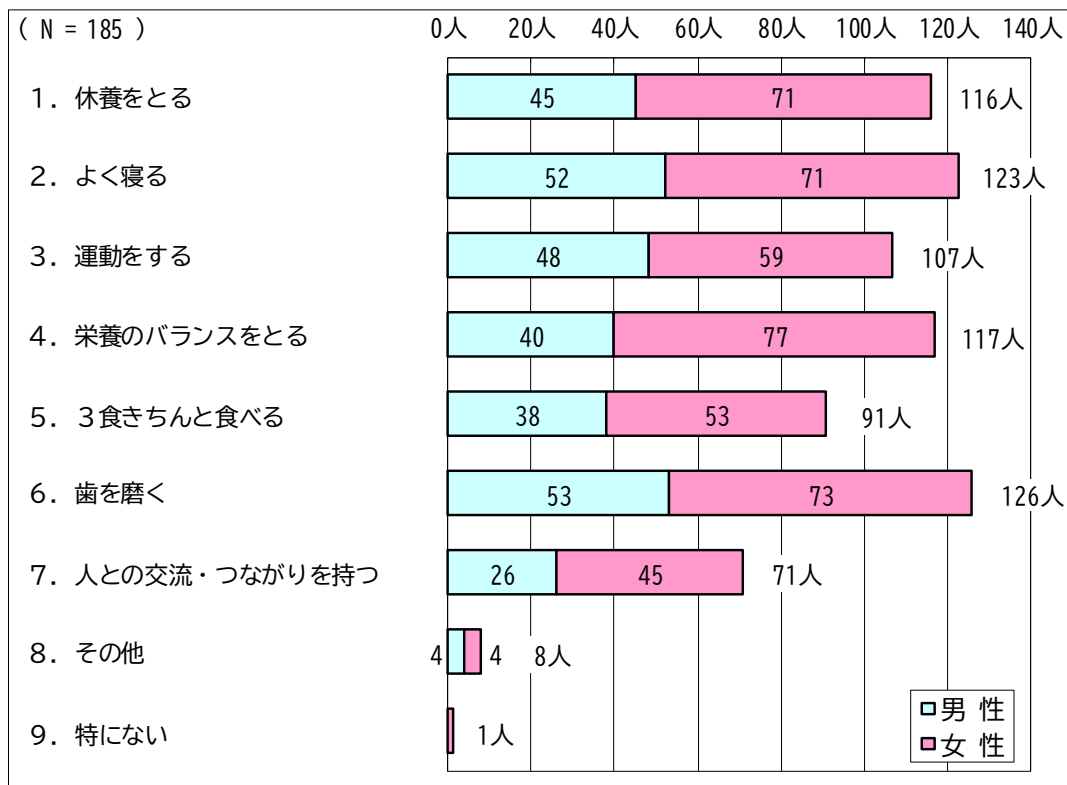
今回の調査結果から、新型コロナウイルス感染症の影響により、約7割の方が運動不足を感じ、約9割の方が人と会う機会が減ったと回答され、健康づくりに大きな影響をもたらしていることがわかりました。

また、講習会などの動画配信については、体操や食事への関心が多いことがわかりました。

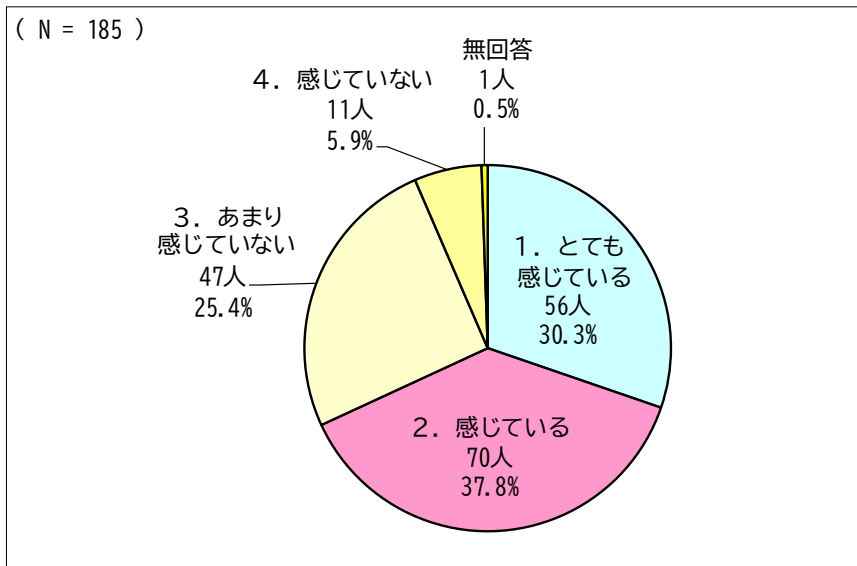
今回の調査結果をもとに、今後の事業の企画立案等に反映し、より多くの方々に健康づくりについて関心を持っていただけるように引き続き取り組んでまいります。

(健康部 保健サービス課)

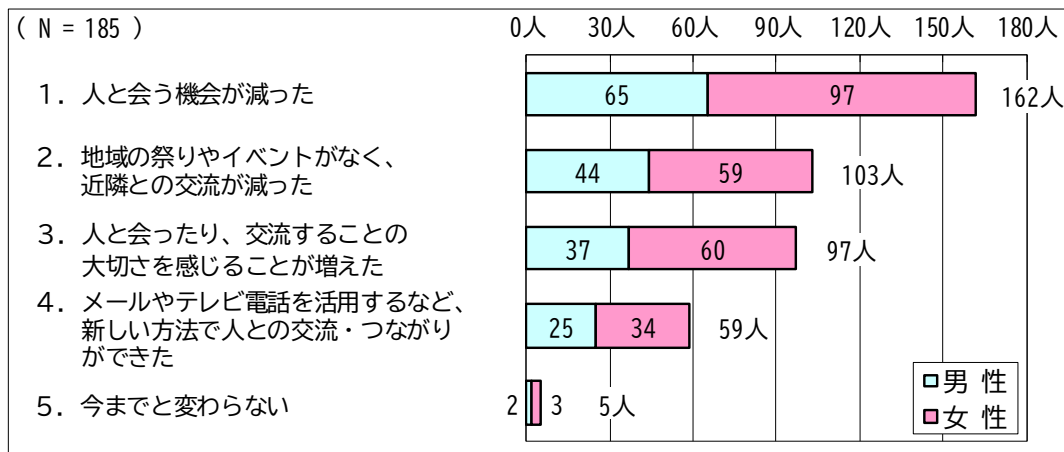
設問1：あなたが健康のために実行していることはどのようなことですか。(複数回答可)



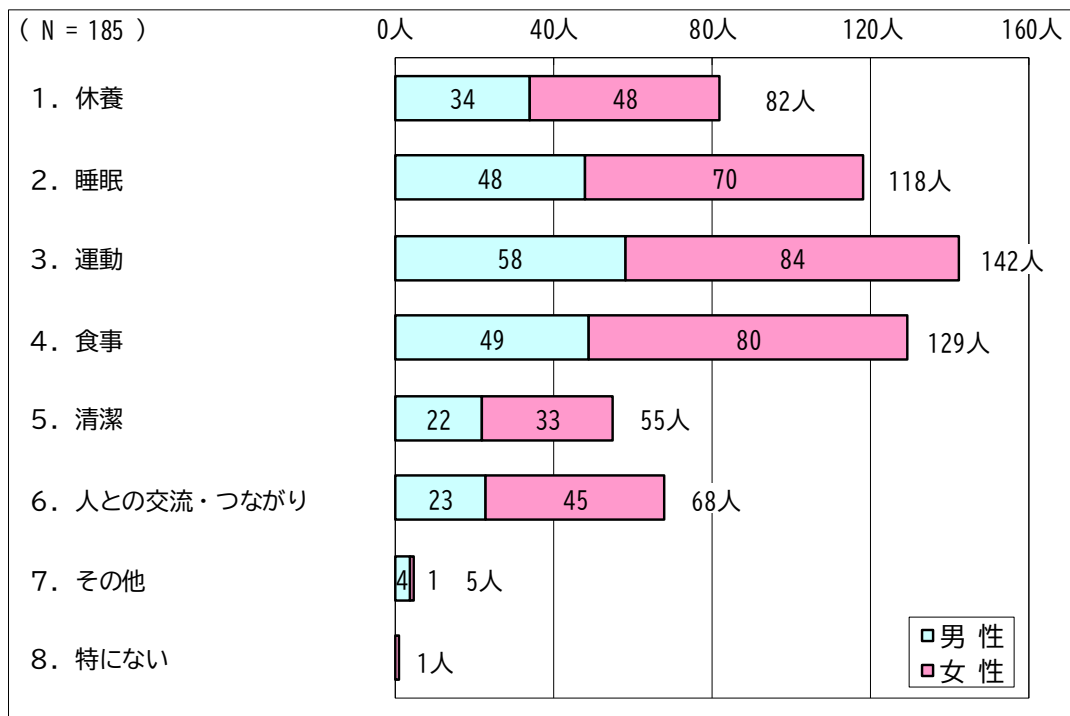
設問2：新型コロナウイルス感染症の影響により、運動不足になっていると感じますか。



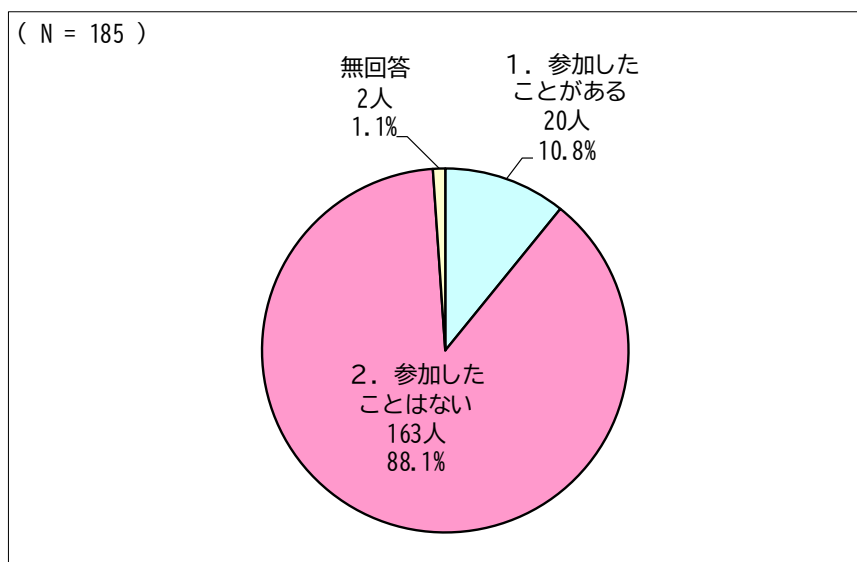
設問3：新型コロナウイルス感染症の影響により、人との交流・つながりに変化がありましたか。(複数回答可)



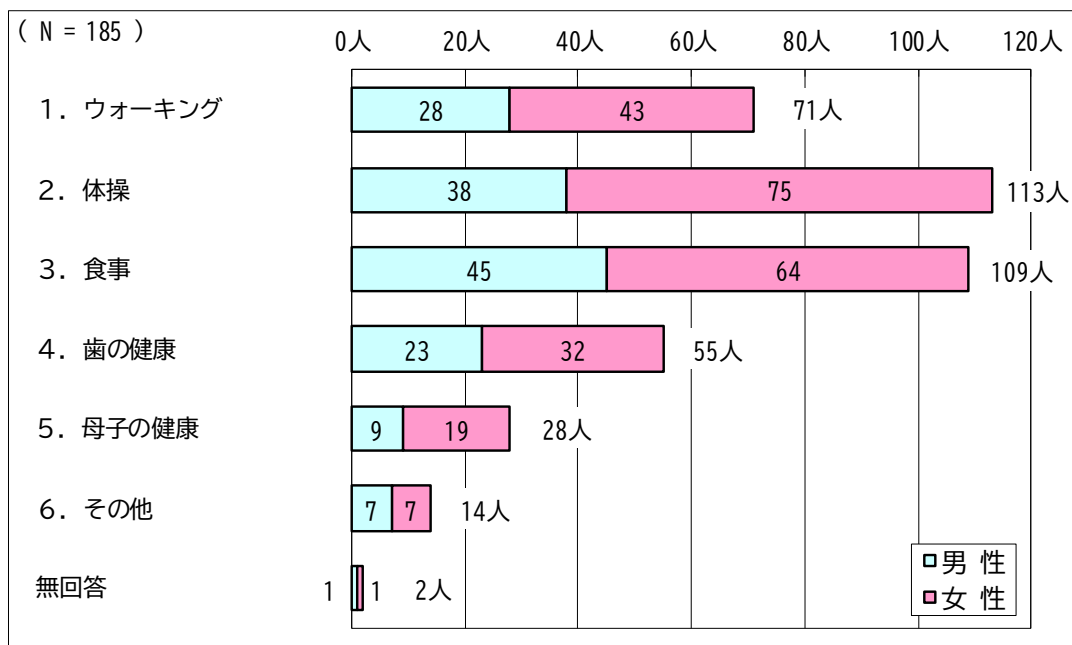
設問4：健康づくりであなたが関心のあることは何ですか。（複数回答可）



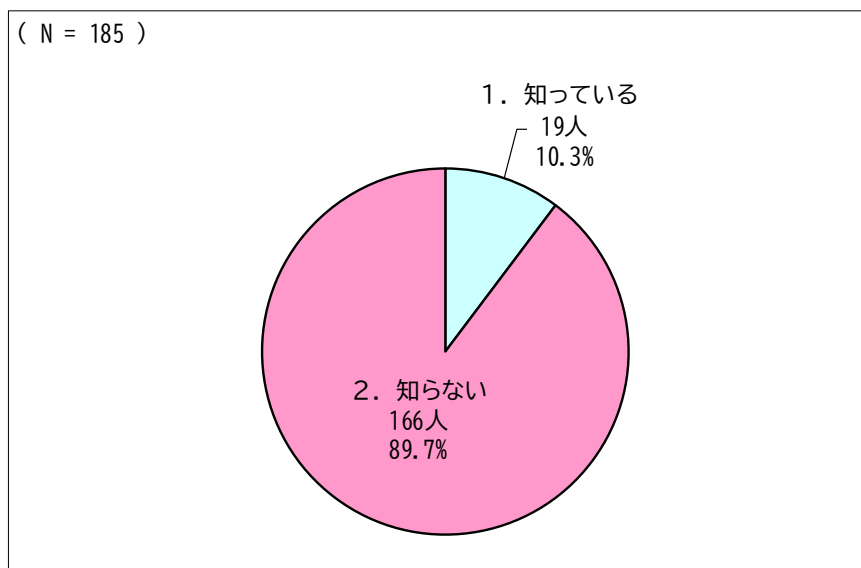
設問5：区では、健康づくりの取り組みへの支援と普及啓発により、生涯にわたりよい生活習慣を身に着けることを目的とした、健康づくりに関する講習会を開催しています。講習会に参加したことがありますか。



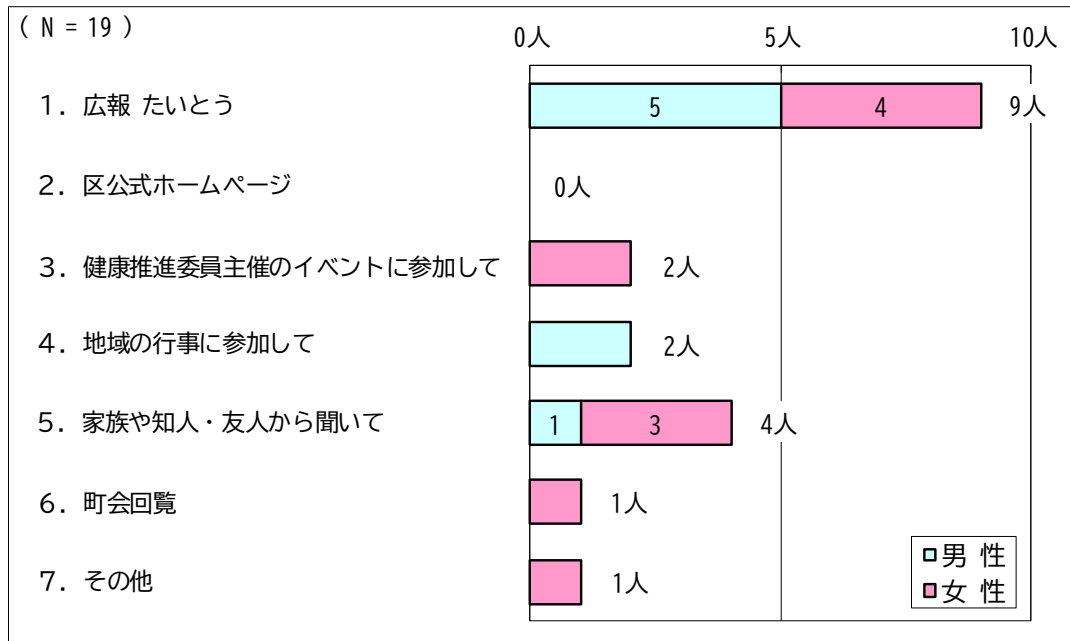
設問6：新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、健康づくりに関する講習会などについて、動画配信などを考えています。どのような内容に興味・関心がありますか。(複数回答可)



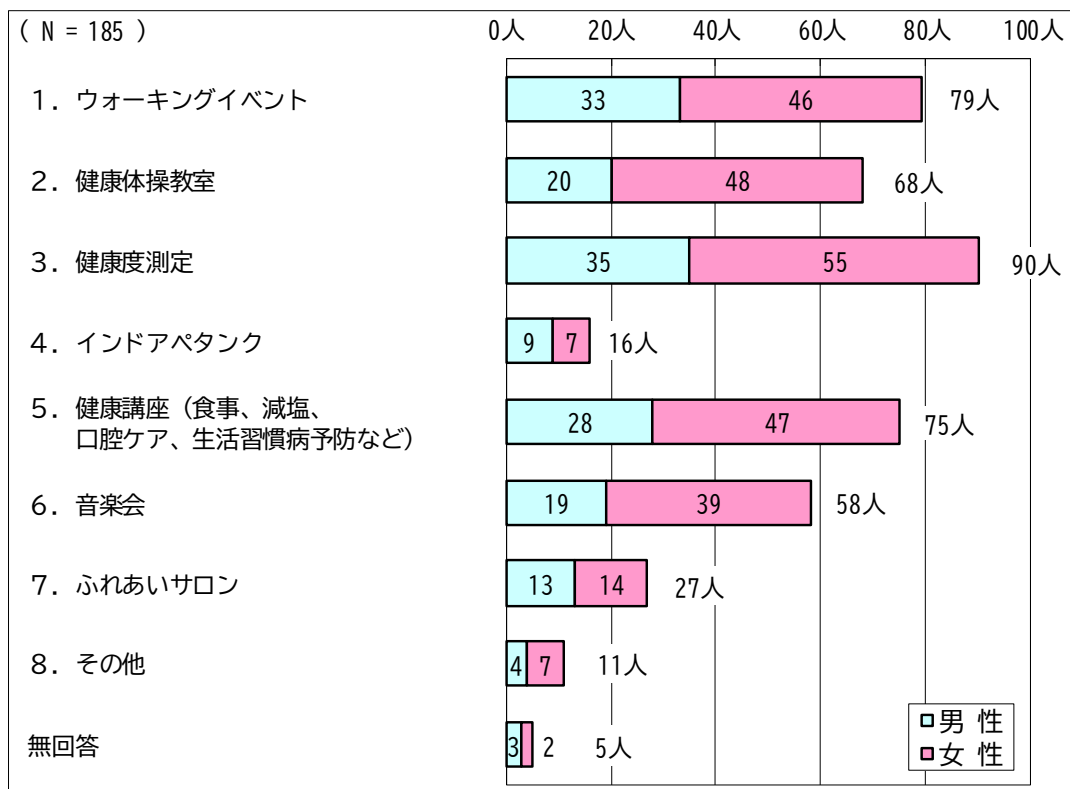
設問7：台東区には、区民一人ひとりが自主的な健康づくりに取り組めるよう、個人と地域をつなげるきっかけづくりを推進する健康推進委員制度を導入しています。区内の各町会から1名ずつ選出される健康推進委員を知っていますか。



設問8：設問7で選択肢1「知っている」を選択した方にお伺いします。
健康推進委員を何で知りましたか。

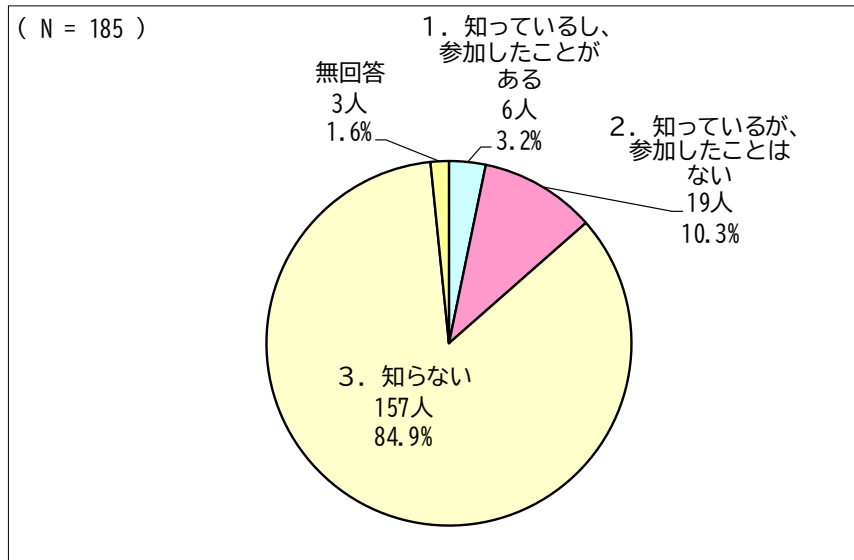


設問9：健康推進委員は地区単位で地域の特性を活かし、健康づくりに関する学習会などを企画・開催しています。
あなたが興味・関心のある企画は何ですか。(複数回答可)



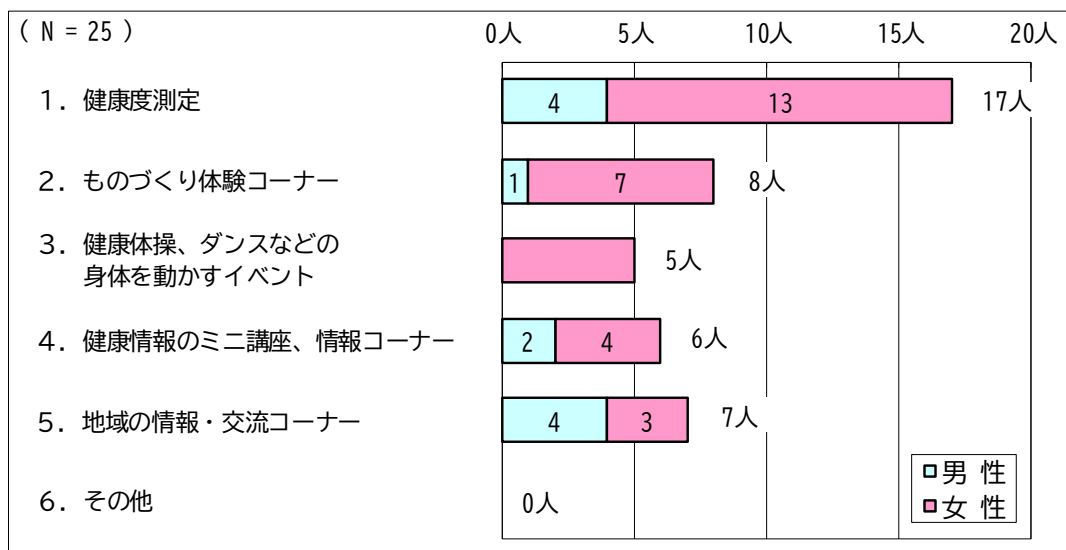
設問10: 人との交流・つながりが健康に与える影響が大きいことがわかってきたことから、区では地域ぐるみで「健康なまち」を築いていくことを目指し、住民の方が健康に関心を持ち、地域でのつながりが広がるきっかけとなる「いきいき健康まつり」を住民の方と一緒に開催しています。

いきいき健康まつりを知っていますか。(令和2年度は未実施)



設問11: 設問10で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。

「いきいき健康まつり」の活動について、どのようなものを知っていますか。(複数回答可)



設問12：今後の健康づくりに関する活動について、ご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・自己と向き合うだけの健康づくりは継続性が課題になる。そのため地域での交流のある健康づくりにより、一人ではない施策が重要と感じる。
- ・令和2年に台東区に引っ越してきた。健康づくりに関する活動をあまり知らないが、区内には沢山の魅力的な場所があるので、ウォーキングのイベントを楽しめたら心身共に健康的で良いと思う。
- ・一人世帯でも気軽に参加できる活動があると良いと思う。
- ・どのような活動をしているのか全く知らなかった。今年は公園のラジオ体操も中止となっている。そこまでしなくても良いのではないかとも思うが、難しいご時世だ。何かイベントがあれば是非知りたい。
- ・区の健康に関する活動は、シニア世代向けのイメージが強い。新型コロナウイルスの影響で、若い世代も健康について関心が高まっていると思うので、若い世代も参加しやすく、興味を持つ取り組みをしてほしい。
- ・健康づくりに関する活動を、もっと広報誌等で具体的に発信してほしいと思う。
- ・健康づくりは特にまだ意識していない。
- ・現在の健康づくりに関する活動は高齢者を対象にしたものが多いと思う。それらを継続させたい一方で、若年層から壮年層までの運動不足の人々を対象とした活動が新しく考案されると嬉しく思う。
- ・健康の為に歯は重要かと思う。歯の手入れの仕方の教室などあれば、啓蒙になるかと思う。
- ・健康づくりの催し物を知らず、参加できなかった事をもったいなく思った。コロナの心配がなくなり、通常の生活に戻ったら積極的に参加したい。コロナ以前はウォーキングをしていたので、ウォーキングイベントが魅力的だと思った。

- ・オンラインで実施される健康づくりの催事があれば、参加してみたいと思う。また、健康づくりに関する催事についても、LINEやTwitter等で周知すると良いと思う。
- ・20～30代で働いている社会人向けの恩恵があるとは思えない。
- ・スタンプラリーを併用した、子供も大人も楽しんでウォーキングできるファミリー向けのウォーキングコースがあれば良いと思う。参加賞として近隣商業施設の割引がつけば、健康面でも経済面でも良いと思う。
- ・動画作成は似たようなものが沢山あるので、区で改めて作る必要は無いと思う。健康測定イベントを広報で見ると、定員が少ないので申し込む気にならない。気軽に参加できるイベントがあると良いと思う。
- ・健康維持の為に運動は大事だと思う。運動以外にも、会話などコミュニケーションを増やす機会もあれば良いと思う。
- ・コロナが落ち着くまでは人が集まることが脅威になるので、一人で家の中でできることを中心に提案してほしい。
- ・コロナ禍で人との交流が減り、特にお年寄りには家に一人で過ごす時間が増えたと思う。感染対策に十分注意した上で、人とのつながり、コミュニケーションがとれるようなイベント、運動教室等を少しずつ再開してほしい。
- ・電話やメールで事前に予約するのではなくて、夏に開催されていた朝の「ラジオ体操」は、気軽に参加できて、街の人達と交流ができた。そのような簡単に参加できる活動が嬉しいと思う。
- ・ウォーキングは良いと思う。単に健康づくりで歩くのは難しいが、趣味となると遠くまで出かけるのも苦にならないと思う。ウォーキングイベントのように、趣味と連動して、その成果をみんなで共有することが交流にも役立つと思う。

【障害者のコミュニケーションに関する認識について】

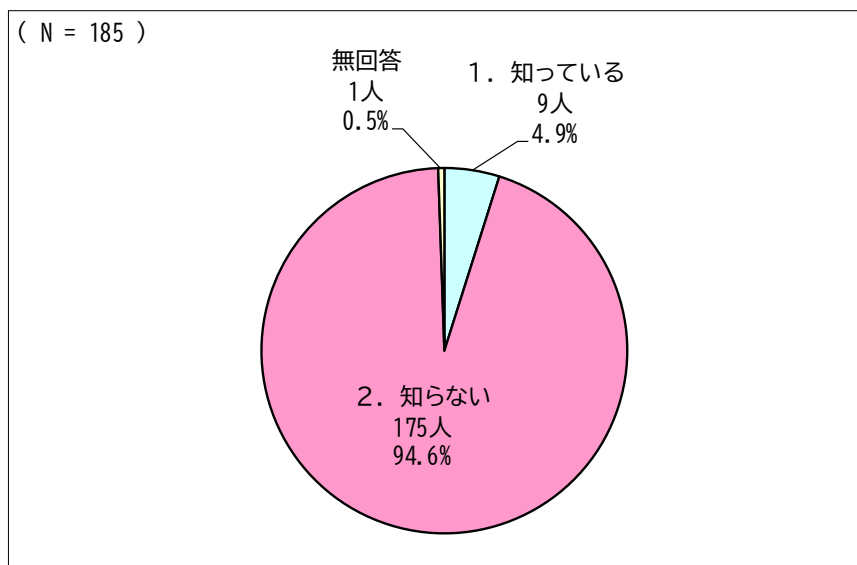
今回の調査では、「台東区手話言語の普及及び障害者の意思疎通の促進に関する条例」について「知らない」と回答された方が9割を超え、また、区が手話講習会を開催していることについて「知らない」と回答された方が7割を超えていることがわかりました。

一方で、手話が言語であることを「知っている」と回答された方が7割、手話について「非常に興味がある」「どちらかと言えば興味がある」と回答された方が8割近くにとり、手話への関心の高さを伺うことができました。さらに、「コミュニケーション手段を学びたい」「障害への理解を深めたい」という意見も多くありました。

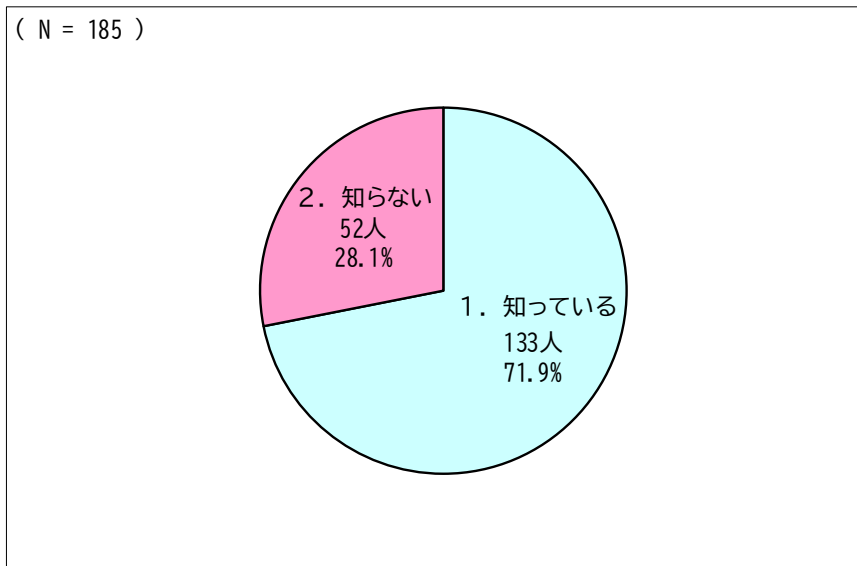
今回の結果を踏まえ、条例の施行や手話講習会などの更なる周知を図るとともに、障害の理解促進やコミュニケーション支援につながる新たな方策についても検討するなど、共生社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

(福祉部 障害福祉課)

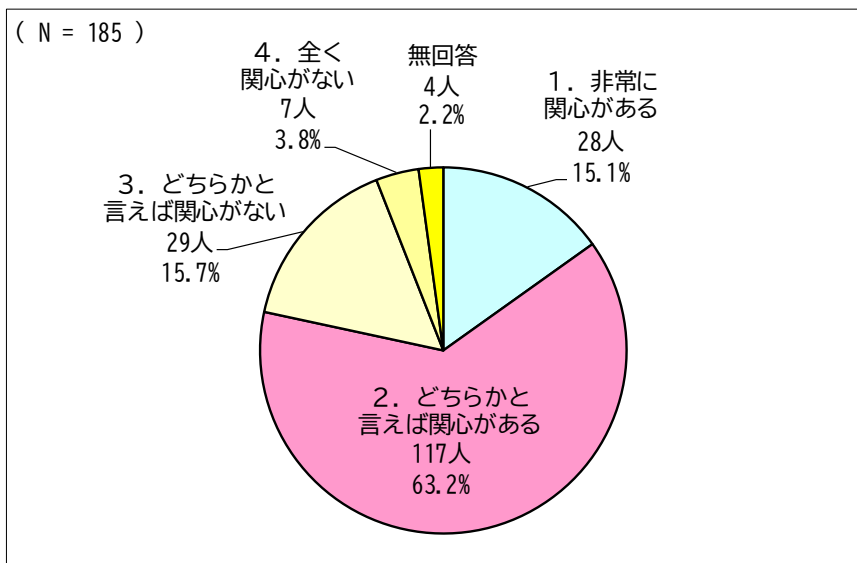
設問13：令和2年4月に障壁のない多様性が尊重される共生社会実現に向けた方策の一つとして「台東区手話言語の普及及び障害者の意思疎通の促進に関する条例」が施行されたことを知っていますか。



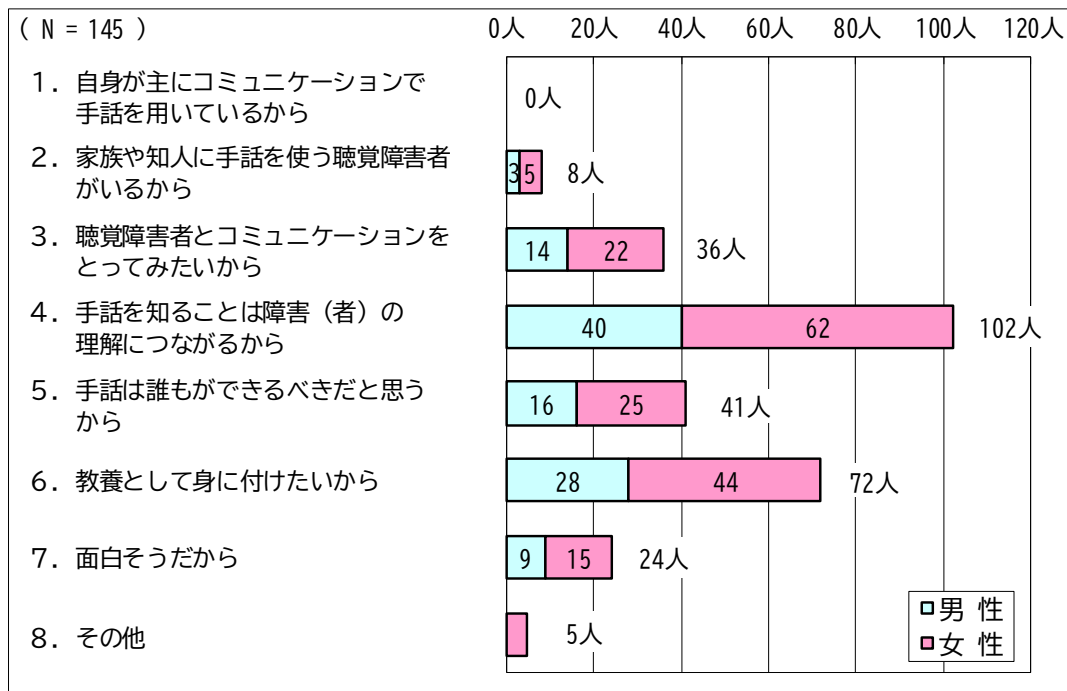
設問14：障害者基本法において、手話は言語であることが明記されています。
手話は言語であることを知っていますか。



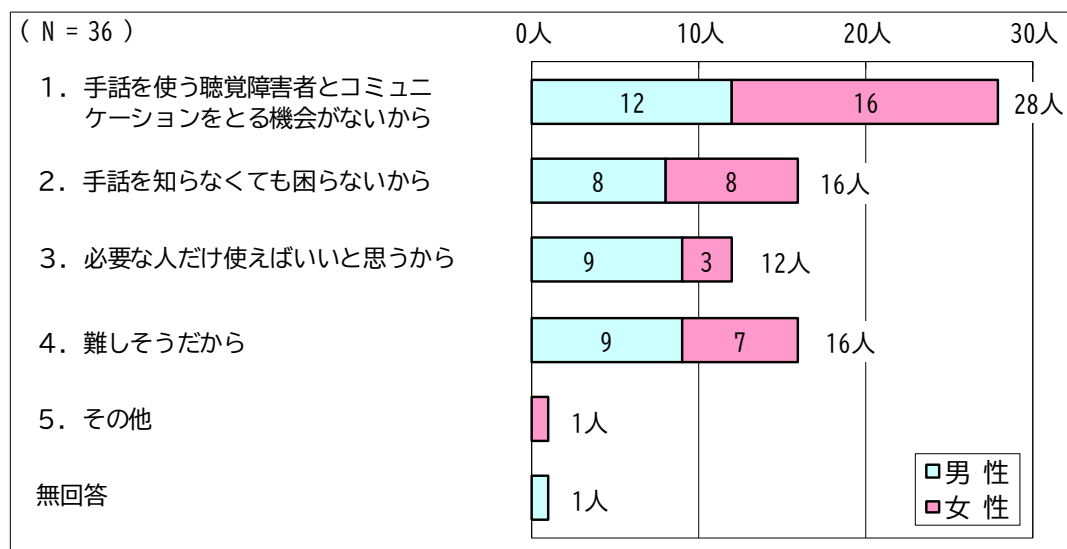
設問15：手話について関心がありますか。



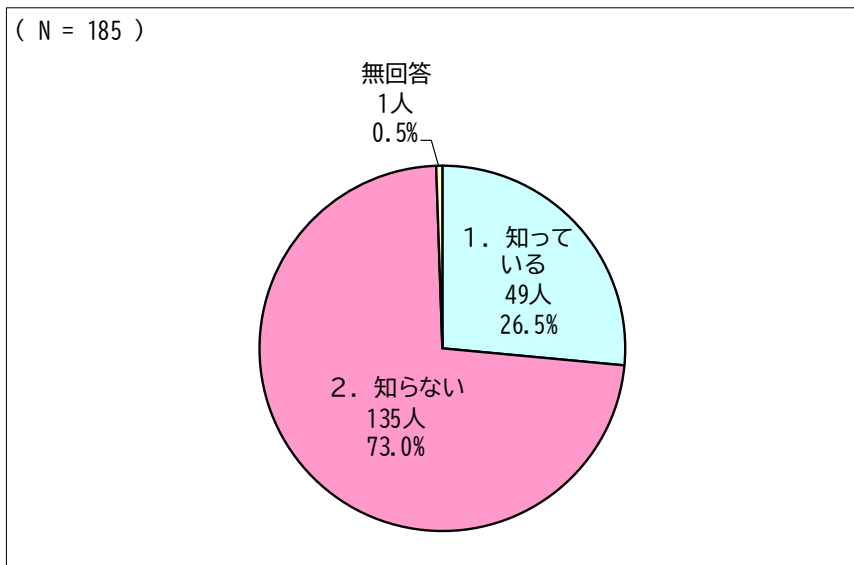
設問16：設問15で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。
手話に関心がある理由は何ですか。(複数回答可)



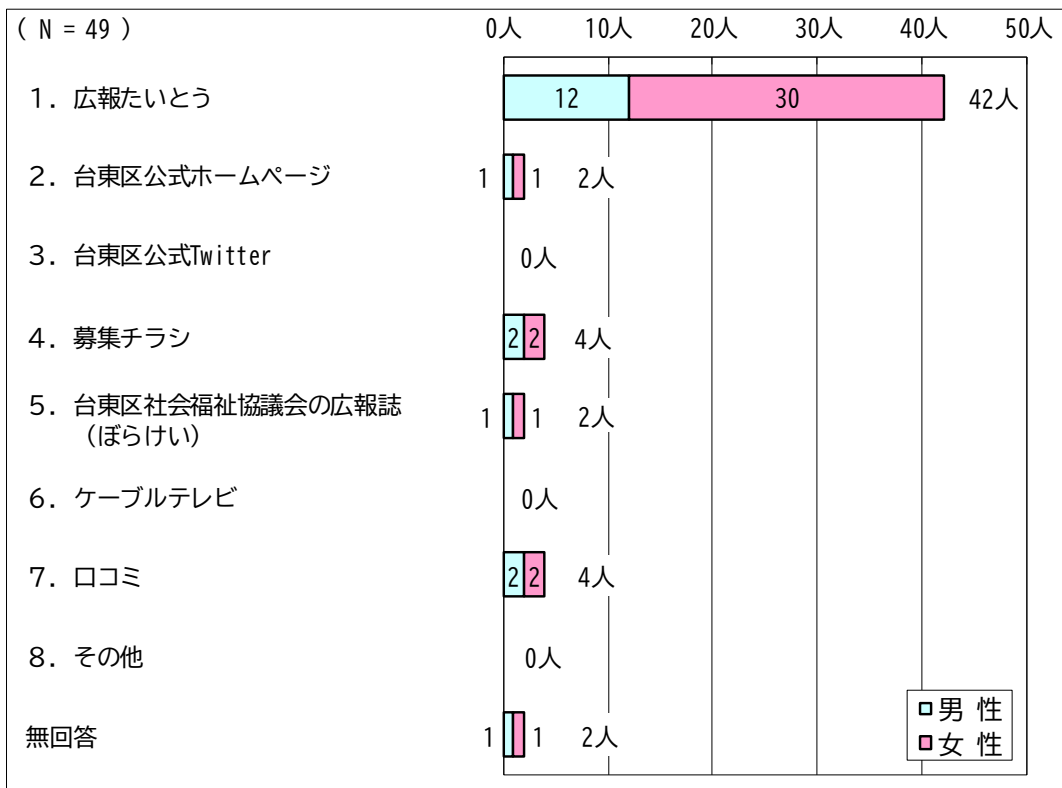
設問17：設問15で選択肢3、4を選択した方にお伺いします。
手話に関心がない理由は何ですか。(複数回答可)



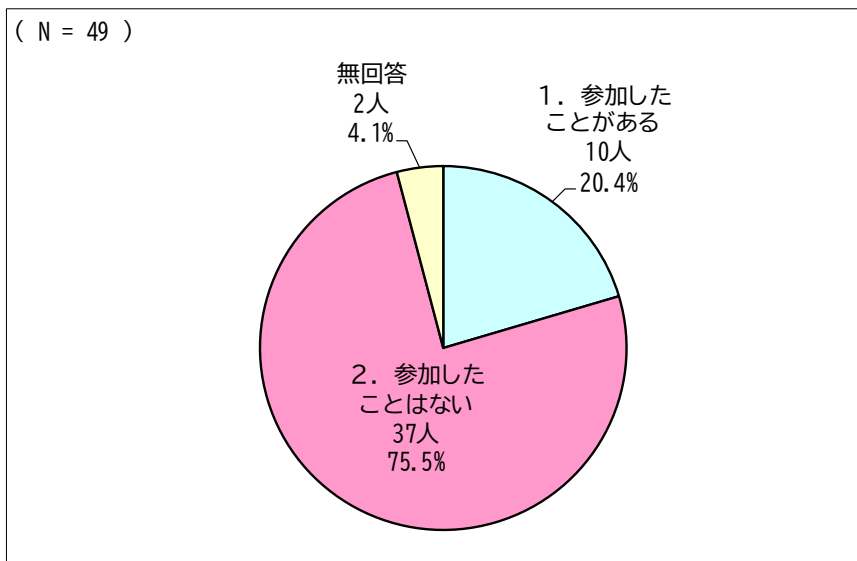
設問18：区が手話講習会を開催していることを知っていますか。



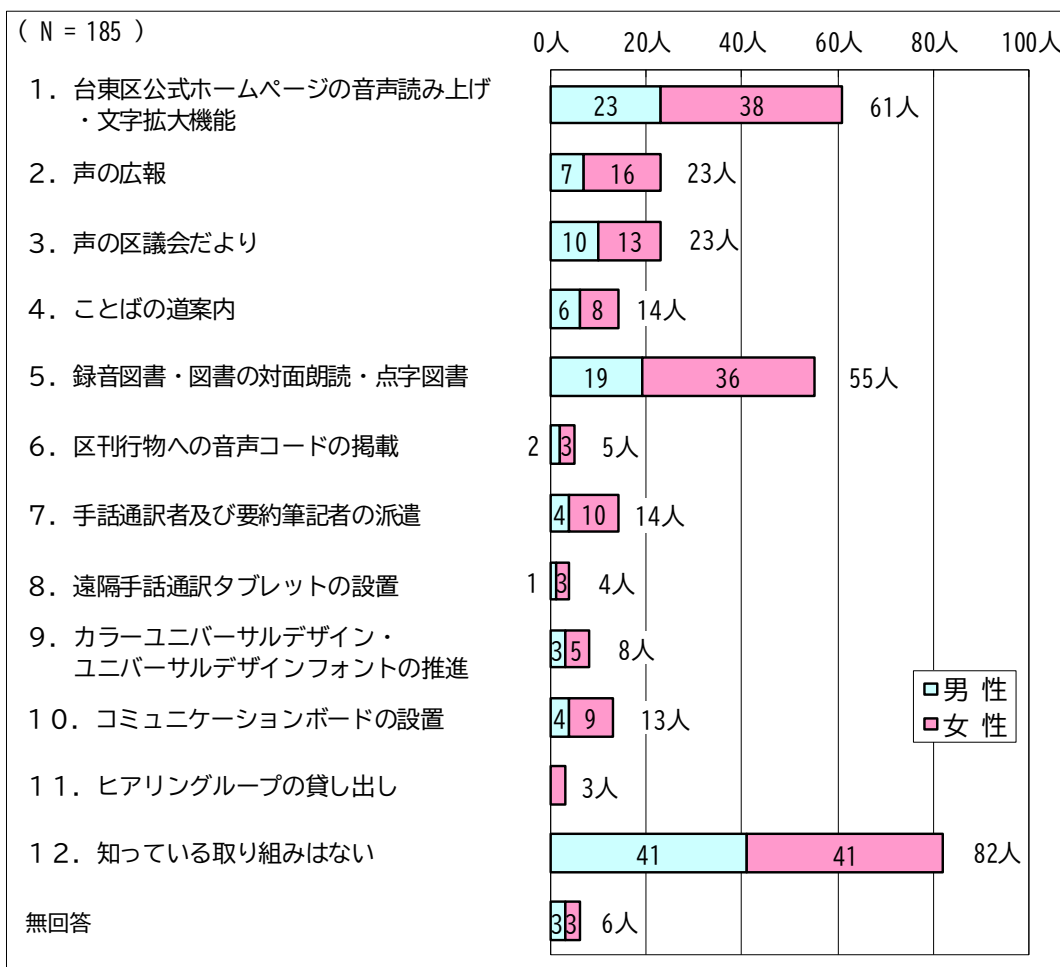
設問19：設問18で選択肢1「知っている」を選択した方にお伺いします。
手話講習会を何で知りましたか。(複数回答可)



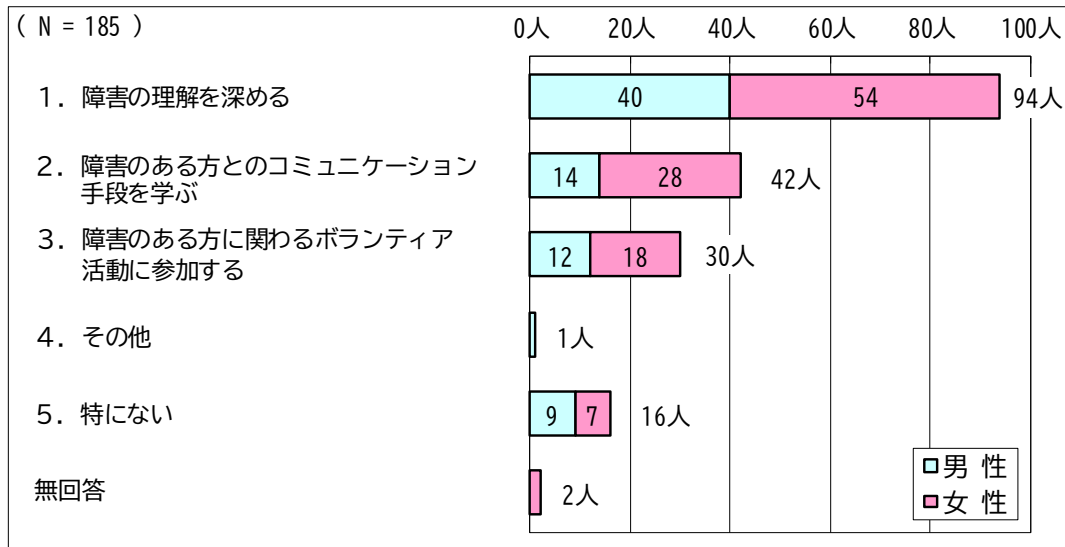
設問20：設問18で選択肢1「知っている」を選択した方にお伺いします。
手話講習会に参加したことがありますか。



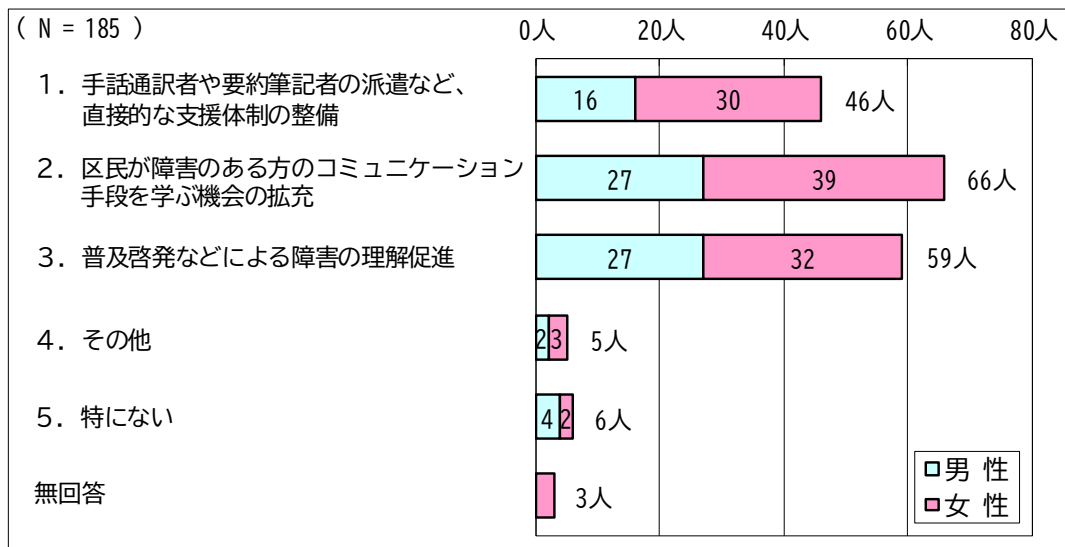
設問21：区では、コミュニケーション上の障害のある方が情報を取得及び発信するために様々な取り組みを行っています。
あなたが知っている取り組みは何ですか。(複数回答可)



設問22：コミュニケーション上の障害のある方が暮らしやすいまちをつくるため、区民としてどのようなことに取り組みたいと思いますか。



設問23：コミュニケーション上の障害のある方が暮らしやすいまちをつくるため、区はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。



設問24：障害がある方とのコミュニケーションについて、ご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・障害がある方とコミュニケーションを取りたいし、手話等も学んでみたいと思っているが、最初の一步に抵抗感がある。同じ心境の方は多いと思うので、どんどん街角や商業施設等でイベントを開催して巻き込んでいっても良いと思う。
- ・健常者側が手話を話せないため「コミュニケーションを取らない」とせず、アナログ・デジタルを最大限に活用して、お互いがうまく意思疎通を交わすことが大切なのではないかと思う。
- ・障害がある方とのコミュニケーションは差し迫った必要性がないと忙しい日常の中で優先度が下がる。しかし、大変重要なことだと思うため、広報に特集ページを設けるなど、気軽に障害について理解が深まる機会があるとありがたい。
- ・日頃から身近に感じ、意識することが少ないため、理解促進になかなか繋がらない。
- ・障害がある方とコミュニケーションをとるのは難しいと思っていたが、手話講習会に参加し、手話で楽しく会話ができたと感じるようになった。点字の講習会なども開催してほしい。
- ・障害のある方とのコミュニケーションの障壁が無い区を目指すことは、観光の観点からも重要だと思う。区民はもちろん、お店などにも理解を広げて、「障害があっても観光しやすい台東区」を目指す取り組みをしてほしい。
- ・今のところ、自身の身近に感じる場面や機会があまりなく、積極的に関わるのも気後れするような意識がある。区の広報などで関連する記載が増えれば、身近に感じるきっかけになると思う。
- ・コロナの影響で人と関わるのが難しくなっている。実際に関わって理解を深められない分、情報の提供を進めてほしい。
- ・過去に障害がある方と関わった経験から、障害がある方と円滑なコミュニケーションを行うには、まず自分の精神に余裕がないと難しいと感じた。
- ・健常者は障害のある方と交流する機会が少ないため、接し方が分からず、壁が出来てしまっていると感じる。幼い頃からの啓蒙教育があると良いと思う。

- ・他の言語と一緒に、手話は普段から使わないと覚えていてもいずれ忘れてしまうと思う。例えば筆談など、覚える必要のないコミュニケーションの方法を推進していくことも大切ではないかと思う。
- ・手話ができなくても筆談で済む気がするので、わざわざ学ぼうとは思わない。今はスマホを誰でも持っているので、その画面上に文字を表示させれば良いのではないか。
- ・唾液が比較的飛びにくい手話を使える人が増えることでコロナの飛沫感染リスクも減らせるのではないかと感じる。騒音がある場所等でも、手話を使用することで声を出さずにコミュニケーションが取れる。
- ・手話等の講習会に行く時間の確保はできないため、動画等で自宅学習できる環境があると有難い。
- ・コミュニケーション上の障害のある方が情報を取得及び発信する様々な取り組みについて、詳しい内容を知らないことが多いため、広報たいとうに特集を組んでPRしてほしい。
- ・手話を義務教育の総合の時間等に子供達の負担にならない内容量で学ぶ機会があれば良いと思う。
- ・障害のある方の役に立ちたい気持ちはあるが、実際に手助けが必要なのか、必要ではないのか、何をしたら良いのかを伝えられる方ばかりではないと思う。手助けが必要な時の意思表示が誰からでも分かるようにできると良いと思う。
- ・普段、障害のある方と関わる機会がほとんどないため、なかなか「理解」まで進まない部分があると自覚している。パラリンピック開催の記憶が薄れる前に、理解につながる啓発活動等を期待したい。
- ・子供の頃から一緒にできる活動・イベントの機会を増やし、身近に感じることで、大人になってからもどのように接すればよいか戸惑うことなく対応できるのではないかと思う。
- ・録音図書、対面朗読のボランティアをしているが、利用者があまり多いとは言えないと思う。
- ・災害時に安全な場所や避難経路を説明する際に、どのように伝えたら良いかを学習したい。区の取り組みも知りたい。

II アンケート質問と回答

【健康づくりについて】

設問1: あなたが健康のために実行していることはどのようなことですか。(複数回答可)

1. 休養をとる	116人	62.7%
2. よく寝る	123人	66.5%
3. 運動をする	107人	57.8%
4. 栄養のバランスをとる	117人	63.2%
5. 3食きちんと食べる	91人	49.2%
6. 歯を磨く	126人	68.1%
7. 人との交流・つながりを持つ	71人	38.4%
8. その他	8人	4.3%
9. 特にない	1人	0.5%
全体	760人	

設問2: 新型コロナウイルス感染症の影響により、運動不足になっていると感じますか。

1. とても感じている	56人	30.3%
2. 感じている	70人	37.8%
3. あまり感じていない	47人	25.4%
4. 感じていない	11人	5.9%
無回答	1人	0.5%
全体	185人	100.0%

設問3: 新型コロナウイルス感染症の影響により、人との交流・つながりに変化がありましたか。(複数回答可)

1. 人と会う機会が減った	162人	87.6%
2. 地域の祭りやイベントがなく、近隣との交流が減った	103人	55.7%
3. 人と会ったり、交流することの大切さを感じるが増えた	97人	52.4%
4. メールやテレビ電話を活用するなど、新しい方法で人との交流・つながりができた	59人	31.9%
5. 今までと変わらない	5人	2.7%
全体	426人	

設問4: 健康づくりであなたが関心のあることは何ですか。(複数回答可)

1. 休養	82人	44.3%
2. 睡眠	118人	63.8%
3. 運動	142人	76.8%
4. 食事	129人	69.7%
5. 清潔	55人	29.7%
6. 人との交流・つながり	68人	36.8%
7. その他	5人	2.7%
8. 特にない	1人	0.5%
全体	600人	

設問5: 区では、健康づくりの取り組みへの支援と普及啓発により、生涯にわたりよい生活習慣を身に着けることを目的とした、健康づくりに関する講習会を開催しています。講習会に参加したことがありますか。

1. 参加したことがある	20人	10.8%
2. 参加したことはない	163人	88.1%
無回答	2人	1.1%
全体	185人	100.0%

設問6: 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、健康づくりに関する講習会などについて、動画配信などを考えています。どのような内容に興味・関心がありますか。
(複数回答可)

1. ウォーキング	71人	38.4%
2. 体操	113人	61.1%
3. 食事	109人	58.9%
4. 歯の健康	55人	29.7%
5. 母子の健康	28人	15.1%
6. その他	14人	7.6%
無回答	2人	1.1%
全体	392人	

設問7: 台東区には、区民一人ひとりが自主的な健康づくりに取り組めるよう、個人と地域をつなげるきっかけづくりを推進する健康推進委員制度を導入しています。区内の各町会から1名ずつ選出される健康推進委員を知っていますか。

1. 知っている	19人	10.3%
2. 知らない	166人	89.7%
全体	185人	100.0%

設問8: 設問7で選択肢1「知っている」を選択した方にお伺いします。健康推進委員を何で知りましたか。

1. 広報たいとう	9人	47.4%
2. 区公式ホームページ	0人	0.0%
3. 健康推進委員主催のイベントに参加して	2人	10.5%
4. 地域の行事に参加して	2人	10.5%
5. 家族や知人・友人から聞いて	4人	21.1%
6. 町会回覧	1人	5.3%
7. その他	1人	5.3%
全体	19人	100.0%

設問9: 健康推進委員は地区単位で地域の特性を活かし、健康づくりに関する学習会などを企画・開催しています。

あなたが興味・関心のある企画は何ですか。（複数回答可）

1. ウォーキングイベント	79人	42.7%
2. 健康体操教室	68人	36.8%
3. 健康度測定	90人	48.6%
4. インドアペタンク	16人	8.6%
5. 健康講座（食事、減塩、口腔ケア、生活習慣病予防など）	75人	40.5%
6. 音楽会	58人	31.4%
7. ふれあいサロン	27人	14.6%
8. その他	11人	5.9%
無回答	5人	2.7%
全体	429人	

設問10: 人との交流・つながりが健康に与える影響が大きいことがわかってきたことから、区では地域ぐるみで「健康なまち」を築いていくことを目指し、住民の方が健康に関心を持ち、地域でのつながりが広がるきっかけとなる「いきいき健康まつり」を住民の方と一緒に開催しています。

いきいき健康まつりを知っていますか。（令和2年度は未実施）

1. 知っているし、参加したことがある	6人	3.2%
2. 知っているが、参加したことはない	19人	10.3%
3. 知らない	157人	84.9%
無回答	3人	1.6%
全体	185人	100.0%

設問11: 設問10で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。

「いきいき健康まつり」の活動について、どのようなものを知っていますか。（複数回答可）

1. 健康度測定	17人	68.0%
2. ものづくり体験コーナー	8人	32.0%
3. 健康体操、ダンスなどの身体を動かすイベント	5人	20.0%
4. 健康情報のミニ講座、情報コーナー	6人	24.0%
5. 地域の情報・交流コーナー	7人	28.0%
6. その他	0人	0.0%
全体	43人	

設問12: 今後の健康づくりに関する活動について、ご意見等がありましたらご記入ください。

【障害者のコミュニケーションに関する認識について】

設問13: 令和2年4月に障壁のない多様性が尊重される共生社会実現に向けた方策の一つとして「台東区手話言語の普及及び障害者の意思疎通の促進に関する条例」が施行されたことを知っていますか。

1. 知っている	9人	4.9%
2. 知らない	175人	94.6%
無回答	1人	0.5%
全体	185人	100.0%

設問14: 障害者基本法において、手話は言語であることが明記されています。手話は言語であることを知っていますか。

1. 知っている	133人	71.9%
2. 知らない	52人	28.1%
全体	185人	100.0%

設問15: 手話について関心がありますか。

1. 非常に関心がある	28人	15.1%
2. どちらかと言えば関心がある	117人	63.2%
3. どちらかと言えば関心がない	29人	15.7%
4. 全く関心がない	7人	3.8%
無回答	4人	2.2%
全体	185人	100.0%

設問16: 設問15で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。手話に関心がある理由は何ですか。（複数回答可）

1. 自身が主にコミュニケーションで手話を用いているから	0人	0.0%
2. 家族や知人に手話を使う聴覚障害者がいるから	8人	5.5%
3. 聴覚障害者とコミュニケーションをとってみたいから	36人	24.8%
4. 手話を知ることは障害（者）の理解につながるから	102人	70.3%
5. 手話は誰もができるべきだと思うから	41人	28.3%
6. 教養として身に付けたいから	72人	49.7%
7. 面白そうだから	24人	16.6%
8. その他	5人	3.4%
全体	288人	

設問17: 設問15で選択肢3、4を選択した方にお伺いします。
手話に関心がない理由は何ですか。(複数回答可)

1. 手話を使う聴覚障害者とコミュニケーションをとる機会がないから	28人	77.8%
2. 手話を知らなくても困らないから	16人	44.4%
3. 必要な人だけ使えばいいと思うから	12人	33.3%
4. 難しそうだから	16人	44.4%
5. その他	1人	2.8%
無回答	1人	2.8%
全体	74人	

設問18: 区が手話講習会を開催していることを知っていますか。

1. 知っている	49人	26.5%
2. 知らない	135人	73.0%
無回答	1人	0.5%
全体	185人	100.0%

設問19: 設問18で選択肢1「知っている」を選択した方にお伺いします。
手話講習会を何で知りましたか。(複数回答可)

1. 広報たいとう	42人	85.7%
2. 台東区公式ホームページ	2人	4.1%
3. 台東区公式Twitter	0人	0.0%
4. 募集チラシ	4人	8.2%
5. 台東区社会福祉協議会の広報誌(ぼらけい)	2人	4.1%
6. ケーブルテレビ	0人	0.0%
7. 口コミ	4人	8.2%
8. その他	0人	0.0%
無回答	2人	4.1%
全体	56人	

設問20: 設問18で選択肢1「知っている」を選択した方にお伺いします。
手話講習会に参加したことがありますか。

1. 参加したことがある	10人	20.4%
2. 参加したことはない	37人	75.5%
無回答	2人	4.1%
全体	49人	100.0%

設問21: 区では、コミュニケーション上の障害のある方が情報を取得及び発信するために様々な取り組みを行っています。

あなたが知っている取り組みは何ですか。（複数回答可）

1. 台東区公式ホームページの音声読み上げ・文字拡大機能	61人	33.0%
2. 声の広報	23人	12.4%
3. 声の区議会だより	23人	12.4%
4. ことばの道案内	14人	7.6%
5. 録音図書・図書の対面朗読・点字図書	55人	29.7%
6. 区刊行物への音声コードの掲載	5人	2.7%
7. 手話通訳者及び要約筆記者の派遣	14人	7.6%
8. 遠隔手話通訳タブレットの設置	4人	2.2%
9. カラーユニバーサルデザイン・ユニバーサルデザインフォントの推進	8人	4.3%
10. コミュニケーションボードの設置	13人	7.0%
11. ヒアリングループの貸し出し	3人	1.6%
12. 知っている取り組みはない	82人	44.3%
無回答	6人	3.2%
全体	311人	

設問22 コミュニケーション上の障害のある方が暮らしやすいまちをつくるため、区民としてどのようなことに取り組みたいと思いますか。

1. 障害の理解を深める	94人	50.8%
2. 障害のある方とのコミュニケーション手段を学ぶ	42人	22.7%
3. 障害のある方に関わるボランティア活動に参加する	30人	16.2%
4. その他	1人	0.5%
5. 特にない	16人	8.6%
無回答	2人	1.1%
全体	185人	100.0%

設問23: コミュニケーション上の障害のある方が暮らしやすいまちをつくるため、区はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。

1. 手話通訳者や要約筆記者の派遣など、直接的な支援体制の整備	46人	24.9%
2. 区民が障害のある方のコミュニケーション手段を学ぶ機会の拡充	66人	35.7%
3. 普及啓発などによる障害の理解促進	59人	31.9%
4. その他	5人	2.7%
5. 特にない	6人	3.2%
無回答	3人	1.6%
全体	185人	100.0%

設問24: 障害がある方とのコミュニケーションについて、ご意見等がありましたらご記入ください。

令和3年度 第3回
台東区区政サポーターアンケート調査報告書

編集・発行 令和3年12月
台東区総務部広報課
令和3年度登録第45号